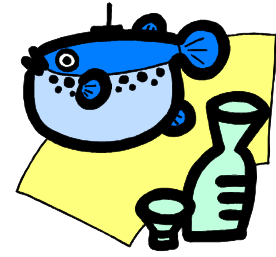


ふぐの食中毒にご用心！



ふぐは**猛毒**（テトロドトキシン、パリトキシン）を持っているため、**正確な鑑別**と**適正な処理**を行わないで食べた場合、**食中毒**を起こし、最悪の場合は**死亡**することがあります。

先日、五島の近海で獲れたウミスズメ（ハコフグ科）と思われるふぐを自分たちで調理し、筋肉及び肝臓（きも）を食べて2名の方がパリトキシン中毒になりました。

ふぐの毒は、ふぐの種類や部位などによって含まれる量に違いがあり、また、ふぐの毒性は個体差があったり、季節による差が見られたりします。したがって、ふぐは「食品衛生法」により食べて良い種類が定められています。さらに食べて良いふぐでも食べられる部位と食べられない部位が決められています（右表に食べられるふぐと部位の一覧表を載せています）。

特に、卵巣、肝臓などの内臓は、ふぐの種類にかかわらず、絶対に食べてはいけません。今回の事例は、食べてはいけない種類のふぐの食べてはいけない部位を食べて発生しています。

ふぐの毒は、水にさらしても煮ても焼いてもなくなりません。ふぐの調理には、正しい知識と技術が必要です。「ふぐ処理者」の資格を持った者が調理したふぐを食べるようにし、素人調理は絶対にしないようにしましょう。

処理等により人の健康を損なうおそれがないと認められるフグの種類及び部位（：食べられる部位）

科名	種類（種名）	部位				
		筋肉	皮	精巣	肝臓	卵巣
フグ科	クサフグ		×	×	×	×
	コモンフグ		×	×	×	×
	ヒガンフグ		×	×	×	×
	ショウサイフグ		×		×	×
	マフグ		×		×	×
	メフグ		×		×	×
	アカメフグ		×		×	×
	トラフグ				×	×
	カラス				×	×
	シマフグ				×	×
	ゴマフグ		×		×	×
	カナフグ				×	×
	シロサバフグ				×	×
	クロサバフグ				×	×
ヨリトフグ				×	×	
サンサイフグ		×	×	×	×	
ハリセンボン科	イシガキフグ				×	×
	ハリセンボン				×	×
	ヒトズラハリセンボン				×	×
	ネズミフグ				×	×
ハコフグ科	ハコフグ		×		×	×

ナシフグは一部の海域で漁獲され、かつ適正に処理されたものに限ります。種名は標準和名で表しています。

角がある



写真：ウミスズメ（毒性が不明なふぐ）

パリトキシンとは

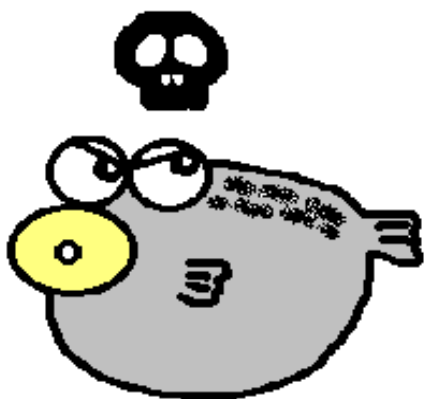
昔から時としてアオブダイの肝臓等を食べて食中毒が起こることが知られています。この食中毒の原因がパリトキシンです。パリトキシンはイワスナギンチャク（イソギンチャクの種類）に含まれる猛毒で、アオブダイなどの魚は、このイワスナギンチャクを餌として食べて肝臓などに毒を蓄積します。パリトキシン中毒は、食べてから数時間～十数時間で発症します。主な症状は、横紋筋融解に由来する筋肉痛、筋力低下、歩行困難、ミオグロビン尿症（黒褐色の排尿）などで、重症例では呼吸困難、腎障害などの症状を呈し、死に至ることもあります。五島ではアオブダイを食べる習慣があり、過去にはこの毒で死亡者もでていました。今年の5月にも上五島でアオブダイを食べてパリトキシン中毒が発生しています。

テトロドトキシンとは

テトロドトキシンはふぐの肝臓や卵巣などの内蔵、ふぐの種類によっては皮、筋肉にも含まれ、通常の加熱では壊れません。その強さは青酸カリの約 1000 倍に匹敵すると言われる猛毒です。症状は食べてから 30 分から 3 時間後に現れ、口唇、舌、手指のしびれに始まり、腹痛、嘔吐などの中毒症状を呈し、重症の場合は、歩行起立困難、言語障害、呼吸困難などをおこし血圧が低下して死に至ることもあります。長崎県では平成 15 年から平成 19 年までの 5 年の間に、平成 18 年を除き毎年 1 名の方がこのテトロドトキシンによって命を落としています。

ふぐがなぜ毒化するかは、まだよくわかっていませんが、海洋細菌のいくつかの種類に、テトロドトキシン産生が認められ、テトロドトキシンの起源は細菌であることがわかってきました。これらの細菌が、小型巻貝などに取り込まれ、ふぐがこれらを食べることにより毒を蓄積すると考えられています。したがって、同じ種類でも季節や生息海域によって毒の強さが異なるうえ、個体差が非常に大きいと言われています。

特に、近年地球温暖化に伴い、海水温が上昇していることから、今まで日本近海にいなかった種類の魚や海生生物が見られるようになりました。このため、前に食べた時は大丈夫だったのに、今までずっと食べていたのに、今度は・・・ということが起こることもあります。



問い合わせ先

長崎県生活衛生課

095 - 895 - 2364